

平成 17 年度第 1 回函館市戸井地域審議会議事録（要点）

【日 時】 平成 17 年 7 月 5 日（火）13 時 30 分～14 時 27 分

【場 所】 函館市戸井支所第 3 会議室

【出席者】 尾関忠義委員，宇美健次郎委員，藤本静夫委員，濱島史子委員，山路榮委員，館山澄子委員，吉田悦也委員，菊地真由美委員，植野範子委員，吉田恵美子委員，木村信委員，佐藤孝昌委員，加藤千州雄委員，布施求委員

（事務局） 戸井支所・・・吉澤戸井支所長，松田戸井副支所長，佐藤地域振興課長，林地域振興課参事，松澤地域振興課主査

函館市企画部・・・梅田地域振興室長，佐藤地域振興課長，進藤地域振興課主査，池田地域振興課主事

【議 事】

佐藤（博）課長	ただいまから平成 17 年度第 1 回函館市戸井地域審議会を開催致します。会議に入ります前に 6 月 1 日付けで新たに委員になられた方をご紹介申し上げます。
藤本委員	藤本でございます。皆様方のご指導をよろしくお願い致します。
佐藤（博）課長	よろしくお願い致します。
尾関会長	挨拶要点 本日の協議事項は，諸般の報告並びに平成 18 年度に向けた地域振興に関する意見交換等が主であり，活発な意見交換を進めていきたい。
吉澤支所長	挨拶要点 6 月 10 日に開会された定例議会では，平成 16 年度の旧戸井町打切り決算も承認され，旧戸井町としての行政事務の一つの区切りが付いたと考えている。3 月の地域審議会で合併後の身近な問題として，地域防災や救急体制について貴重な意見を頂き，これらについては，本所と連携を図り不安解消のための体制づくりに取組んでいくことが必要であると認識している。審議会での意見は，これからの市政運営に大いに役立つもので，今後において皆様のご理解ご協力をお願いしたい。
佐藤（博）課長	地域振興室職員紹介
尾関会長	地域審議会の設置に関する規定により，過半数以上の出席要件を満たしているため，会議を始める。 報告事項 2 点について事務局から報告を求め，まず第 1 点目「合併建設計画地域別個別事業明細表」についての説明をお願いする。
林参事	合併建設計画地域別個別事業明細表 説明
尾関会長	- 質疑 - 意見等なし。 報告事項 2 点目，前回の地域審議会での意見等の集約結果と取組状況

林参事

について説明をお願いします。

1点目，高齢者等に対する交通助成制度については，今後現行制度の見直し・検討する中で旧4地域への拡大に向けて進めていく予定である。

2点目，災害等に備えての避難路の表示，看板，マップの作成，避難訓練実施について，現行の地域防災計画をベースに旧4町村の防災計画を盛り込み平成19年3月を目途に策定作業を進める。

3点目，救急要請で，通報システムに一部不都合があるという意見に対しては，平成18年4月以降，一般加入電話からの通報は自動的にコンピュータ画面に通報先が表示され，通報場所の特定が簡単にできるようになるようである。

尾関会長

- 以上報告2点について，意見なし -

尾関会長

議題2番目，地域振興全般に関して意見交換致したい。

山路委員

下水道の供用開始が平成18年度ということであるが，当初の説明と我々の認識に差異が出てきていると思う。また，負担金の問題など資金計画が必要なので，説明会を早く設けてくれるようお願いする。

吉澤支所長

分担金については，住民説明会の中では1件当たり約10万円と説明し了解を得ているが，今年12月の議会で最終的に決まると思う。旧函館市(㎡幾ら)と戸井町では算出方法が違うので，議会を過ぎないことにははっきりと言えない。

次に1戸当りの改造については，40～50万円位と説明しているが，ある程度議会の目途がついたら説明会を開催するので，よろしく願います。

山路委員

戸井町も同じに算出することになると考えれば，干場で面積が大きいため高額になるのかと心配がある。資金準備があるので，なるべく早い機会に願います。

吉澤支所長

おっしゃるとおり資金計画の問題などあると思うが，決定されないことは言えないのでご理解願う。市と連携を深めながら努力してまいるのでよろしく願います。

木村委員

函館市の㎡幾らというのは，どういう意味か。

吉澤支所長

他の市町村では，負担金が㎡450円などと計算する所がある。

木村委員

自分の持つ宅地面積で算出するのか。

吉澤支所長

そうです。下水道区域になると土地の価値観が出てくるが，旧戸井町で検討したとおり，雨水を入れず家庭からの排水だけなので，面積は特別関係ないものとの考えから，1戸当たり幾らという市町村を例にその採用を考えている。

木村委員

この形でなんとしても押し付けて頂きたい。

山路委員	公共施設の利用料ですが、ほとんどの公共施設は、障害者と 65 歳以上の高齢者が申請をすれば利用者証が交付され減免・半額となる。ここの湯遊館は、介護保険証または障害者手帳の提示で 50 円になるが、持ってこなければ普通料金になる。これらは大事なものなので、毎回持ち歩かなくてもいいように、同じように利用者証を発行して対応できないか検討して頂きたい。
吉澤支所長	一体感の醸成を早くやるということなので、皆さんの意見を踏まえ市と連動しながら、出来ることから早めにやっていきたい。
山路委員	恵山のパークゴルフ場もこのカードを提示すれば用が足りるのだが、地元にある保養センターだけが介護保険証を持っていかなければだめ、なんとかならないか。
吉澤支所長	戸井ばかりではなく函館の方が全部対象となったので、利用しやすいよう市と連携していきたいと思っている。
尾関会長	申請しないとだめなのか。
山路委員	恵山や白石のパークゴルフ場で保険証などを持っていくとすぐその場で作れるので、簡単で良いです。
植野委員	戸井町体育協会が 3 月 31 日付けで解散した。体育協会の加盟団体に対して、3 年間の期限付きで今までと同額の助成をして頂くことになっているが、体育協会の受け皿として、戸井スポーツ振興会を設立することになった。一般 6 団体、少年団 6 団体、併せて 12 団体が加盟し、市の助成を受け今後活動していく。また、スポーツ大会についても、1 大会につき 15,000 円の運営費が期限なしで助成されることになり、報告する。
尾関会長	体育協会を解散して地域スポーツ振興会を新たに設立したのか。やることは今までと一緒なのか。市にはそのようなものがないのか。
植野委員	1 市町村に体育協会が 1 つということで、戸井町の体育協会は解散となった。 今までとは違い、スポーツ少年団と大人の団体である体育協会は、スポーツ振興団体ということで一緒になった。
尾関会長	その他の参考資料の説明をお願いします。
林参事	平成 16 年度戸井町決算資料 説明
尾関会長	- 質問なし -
林参事	国際海洋都市構想パンフレット紹介
尾関会長	吉田委員に質問。地域別事業明細でガゴメの話があったが、具体的に組合に決定事項として話がきているのか。
吉田(悦)委員	やっている。計画では石を入れるということ。
尾関会長	今年からやっているのか。

吉田（悦）委員	<p>まだです。今年やる予定である。漁場造成に色々試作しているが簡単にはいかない。養殖とは違い天然の場合は、はっきり、できるというものでもないと考えている。</p>
尾関会長	<p>旧戸井町内全域でやるのか。</p>
吉田（悦）委員	<p>西部・東戸井など旧単組でやる予定である。</p> <p>ガゴメが生えなくても、昆布は確実に付くだろうし、ガゴメの胞子を付けるとのことなので、ある程度は可能性があると思っている。</p>
尾関会長	<p>ガゴメは、フコイダンが癌を死滅したということから、地元では癌で亡くなる人がゼロになるようにガゴメを普段から食べてもらいたいと思う。</p>
吉田（悦）委員	<p>今の段階では研究の段階である。函館の入札を見てきたが、まだ、どの位ほしいのかということもはっきりしていない。小安の場合、来年は大体3トン採れば確実に引き受けると役員段階では話をしている。</p>
館山委員	<p>水族館について、その後どのような進み方をしているのか。一体、予算がどれだけかかり、どれだけの人が入り、赤字がどれだけになるものか。これから多くの人年金生活者になり、子どもたちに負担を負わせるのも大変だ。</p>
尾関会長	<p>市の行政改革の会議があり、私たちが口を挟む問題ではないのかなと、奥歯に物が挟まったような感じであった。</p>
梅田室長	<p>函館海洋都市構想と先般説明会を開きました海の生態科学館は、全く同じものではない。住民説明会で話させて頂いた水族館は、基本構想が決まり、基本構想の中では大体30億程度の建設費を持って造ろうということ。</p> <p>合併を期に、水産業を基幹産業の一つとして位置づけられている時に、子どもたちに海の生態系を学習していくような、社会教育的な施設を展開したい、そういったことで水族館という言葉ではなく海の生態科学館といったことで展開したい。</p> <p>30億程度だとさほど大きな施設ではない、集客性、収益性がある施設として展開するのではなく、地域に根ざした学習機能重視の施設として展開していきたいということで基本構想を決めた。</p> <p>今年度基本計画を決め、来年度以降実施計画に進む予定、建設を目指す方向で進めていこうとしている。ですから、まだ最終的に、必ずやるとか、来年着手するなどの段階ではない。</p> <p>それと、大体15年間で1年当り平均すると7,000万円の赤字が見込まれると聞いている。</p> <p>- 水産海洋都市構想とはどういうものかについて -</p>

北大水産学部が函館地域から離れて行くことで、それに関連した色々な研究機関に従事される方や、ハード的な部分もひっくるめて地域に与える影響は大きいということ、また、北洋漁業や造船など函館市が海と切り離せない町であり、そういった中で水産学部の存続も図りながら国際的な水産海洋都市構想を目指そうという部分が出てきた。

ガゴメ昆布のフコイダンという成分が癌予防や他の効果もあるのではないか、また海洋ロボットでの海流調査などデータによる統計分析ができるような研究などを進めることで、函館市が一つの町づくりの中心、根幹となるようなものとして海洋都市構想を目指す。それと、これから子どもたちにとって夢を与えるような海の生態科学館を目指す、こういった諸所の部分がドッキングして、今日のパンフレットになった。4地域の合併と同時に、子どもたちのために海の生態科学館を整備していこうという構想になった。

尾関会長

ありがとうございました。

- 他、意見なし -

以上をもって、会議を終了する。

佐藤（博）課長

貴重なご意見をありがとうございました。